

# 温室スペース

アウルの中庭の南東側は、大きなガラスの窓から日差しがさんさんと注ぐ温室スペース。中に雪が積もっていても、ここは常夏ムードです。

いただきものの胡蝶蘭の鉢は、最初のお花が落ちた後も再びきれいに開花。2、3カ月

に渡って、私たちの目を楽しませてくれました。昨年は初めてフェニックスがきれいなお花を咲かせました。

緑がすくすく育つのは、日々のお世話の賜物。毎朝霧吹きで潤し、週1回はバケツ8杯分もの水を補給します。1週間見ないと知らない花が咲いていたりするという



元気な草花は、アウルの暮らしのアクセントになっています。

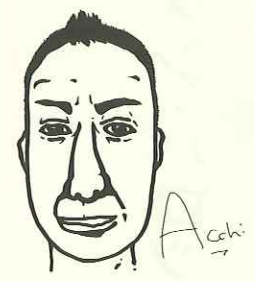
## スタッフ リレーエッセー

### IMAGE イメージ

小さいころから絵を描くことが大好きで、マンガやイラストを真似たり、建物や人物を描いたり、たくさんの絵を描いてきました。絵は、同じ模様や形を描いても色を変えることで、何万通りの作品をつくることができます。そんな無限に広がる世界観が僕

を飽きさせません。ここ「アウルコート真駒内」でもそんな趣味を活かして、例えば僕が描いたアウルの建物や真駒内の自然の線画にみんな色を付けるとか、いろんな活動ができればいいなあと思っています。みんなで作品を創り

介護士 阿知良 透



上げることは素晴らしい、喜びや生きがいにつながっていくと思います。

今日もそんなことを想像しながら、またひとつ僕の絵に温かな色を添えています。



# ふくろらの家 だより

その9 2009年1月

●発行/株式会社私の青い空  
●編集/アウルコート真駒内広報室 〒005-0016 札幌市南区真駒内南町4丁目5-3 ☎011-588-1122



## 月日の中で

代表取締役 武田 治信

年が明けて、平成21年となりました。平成に入って生まれた人が今年成人となります。私が小学生だった昭和40年には、成人の日に「戦後生まれの人が今年成人になりました」というアナウンスが放送等で流れていたのを覚えています。その年からもう44年が過ぎました。

私はかつて医療機関に勤めておりました。医療機関での在職中はさまざまな出来事、人とめぐり合いました。医療機関での在職中にも感じていたのですが、今、有料老人ホームという場で仕事をする中で、改めて「生きるということ」について考えさせられます。

医師・山崎章郎氏の著作『病院で死ぬということ』の中に、若くして亡くなる父親が子供たちに対して、「死ぬかもしれないことが少しも怖

くない理由について」を語るシーンがあります。「死を乗り越えることができるのは勇気でも諦めでもないのだ。愛なのだ。愛ということについては、考えたこともなかったけれど、愛という言葉でしか呼びようのない心がこの世には確かにあるのだ。そんな広くて豊かな心のある世界にしばらくでも生きていたことを幸福だと思うよ」というくだりに、まさしく生きるこの意味、時間あることの大切さ、喜びを改めて感じさせられました。

アウルコート真駒内で、お客様となる対象の方の多くは当然年配の方です。そのような場で改めてさまざまな形での生きるこの意味を大切に考えて行きたいと思います。

今日のランチ  
ダイエット中の  
アウルコートのいやし課長  
キャバリアの「らんこ」です



### 入居相談 受付中

ご見学やご相談は随時受け付けています。  
お気軽にお問い合わせください。  
☎フリーダイヤル  
**0120-916-768**



●介護付有料老人ホーム(一般型特定施設入居者生活介護)  
**アウルコート真駒内**  
〒005-0016 札幌市南区真駒内南町4丁目5-3  
TEL.011-588-1122 FAX.011-588-1133

交通機関  
●地下鉄南北線「真駒内」駅下車  
●じょうてつバス「真駒内駅前」停で真駒内線に乗り(約5分)「南町4丁目」下車(徒歩約4分)

アウルコート真駒内 検索 <http://www.owlcourt.jp>



## 2度目となるコンサートは アウルのために来道

「またお会いできてうれしいです!」

11月12日(水)に行われた第3回いきいきサロンのレストランコンサートは、横田朱乎さんの笑顔いっぱいの挨拶で、ステージが始まりました。横田さん率いる「ザ・モダン・バロック」は、ピアノよりも歴史の古い楽器リコーダーを用いた現代的な演奏をテーマにしているトリオ。ピアノの寺西幸子さん、パーカッションの佐藤裕一さんとともに、一昨年10月の第1回いきいきサロンに来ていただき、今回は

2度目の登場となります。北海道ツアーの途中にお寄りいただいた前回とは違い、



▲左から、横田朱乎さん、佐藤裕一さん、寺西幸子さん

## 大きな窓の背景を考慮し、 曲の構成は空気感に合わせて



プログラムは、「アメージング・グレイス」などの名曲からオリジナル曲、アウルコートの唄「希望の庭」まで全9曲。大きな窓を背景にして演奏するため、曲の構成はその日の凛とした空気感を体感してから当日朝

に決めたそうです。ご高齢の聴き手を思いやり、「ゆっくり進め、話も多かったです」と横田さん。スタッフも、

腰の痛む方の椅子を替えたり、休憩時間にお茶を配って水分補給をしてもらったりと、楽しんでいただけるよう気を配りました。

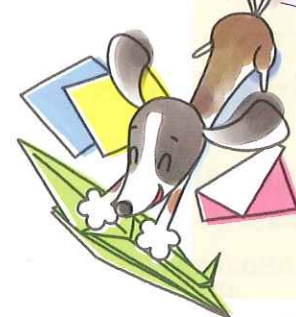
今回の道内コンサートはアウルだけ。会場には横田さんのご両親も足を運ばれ、近隣施設や地域からいらした50名を超すお客様とともに演奏に耳を傾けました。

かせる方、南米生まれの楽器カホンを演奏する手元を見ようと椅子から立ち上がる方、「ほら、リコーダーだよ」とお孫さんを連れて途中から参加された方など、お客様もさまざま。みなさんがそれぞれのスタイルで演奏を堪能されていました。

午後2時にスタートしたコンサートは、あたたかな余韻を会場に残して75分ほどで終了。横田さんの「また来たいです」の言葉に大きな拍手が送られました。



# いきいきサロンに、ザ・モダン・バロック再び 晩秋の午後のひとときに癒しの音色



### アウルの四季彩々日記

●10/13(月・祝)

#### 体育の日は秋のお弁当

行事の日には、季節を感じさせる華やかな彩りの献立。きのこの炊き込みごはんなど秋の味覚を楽しんだ体育の日には、新しいお弁当箱もお披露目しました。



●10/14(火)・15(水)

#### アウルの野菜でお漬物

昨年大好評だった醤油漬。今年もアウルで収穫された大根を使ってつくりました。10kgを超える量ながら、あっという間になくなりました。



●10/14(火)

#### ハロウィーンはかぼちゃ団子

10月末のハロウィーンは、かぼちゃをくり抜いたランタンがシンボルの英米の伝統行事。アウルでは、かぼちゃをお団子にしてほくほくいただきました。



●11/4(火)・6(木)

#### 外食ミニツアー

「たまには外食もいいよね」とのお話から、近所のとんでんで昼食を楽しむミニツアーを実施。人気ナンバーワンのメニューはお寿司でした。



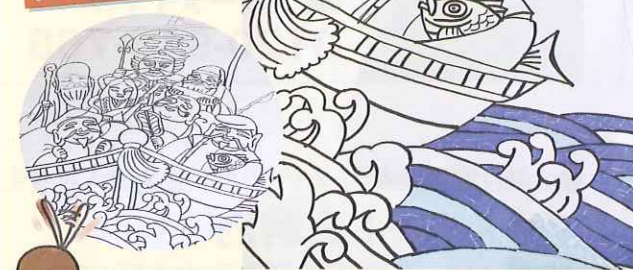
●11/21(金)

#### 寒い季節にはお鍋

4つのお鍋でたらち鍋の夕げ。お鍋をつつきながらのおしゃべりが楽しくて、食後も会話は大盛り上がり。リクエストに応じて、近々再びお鍋の予定です。



#### アウルで趣味活動



以前から不定期で行っていた趣味活動。11月からは曜日と時間を決め、折り紙と貼り絵を楽しんでいます。貼り絵は七福神を描いた1m超の大作に挑戦中。完成をご期待ください。